

2 医療費の動向

(1) 一人当たり療養諸費*の状況

① 全国対比

令和3年度の北海道の一人当たりの療養諸費は421,056円で、全国の394,729円と比べて1.07倍で26,327円多くなっています。

表2 一人当たり療養諸費の推移

区分	H29	H30	R1	R2	R3
北海道	397,562円	401,975円	413,568円	402,309円	421,056円
増減	3.1%	1.1%	2.9%	-2.7%	4.7%
全国対比	1.10倍	1.09倍	1.09倍	1.08倍	1.07倍
全国	362,159円	367,989円	378,939円	370,881円	394,729円
増減	2.6%	1.6%	3.0%	-2.1%	6.4%

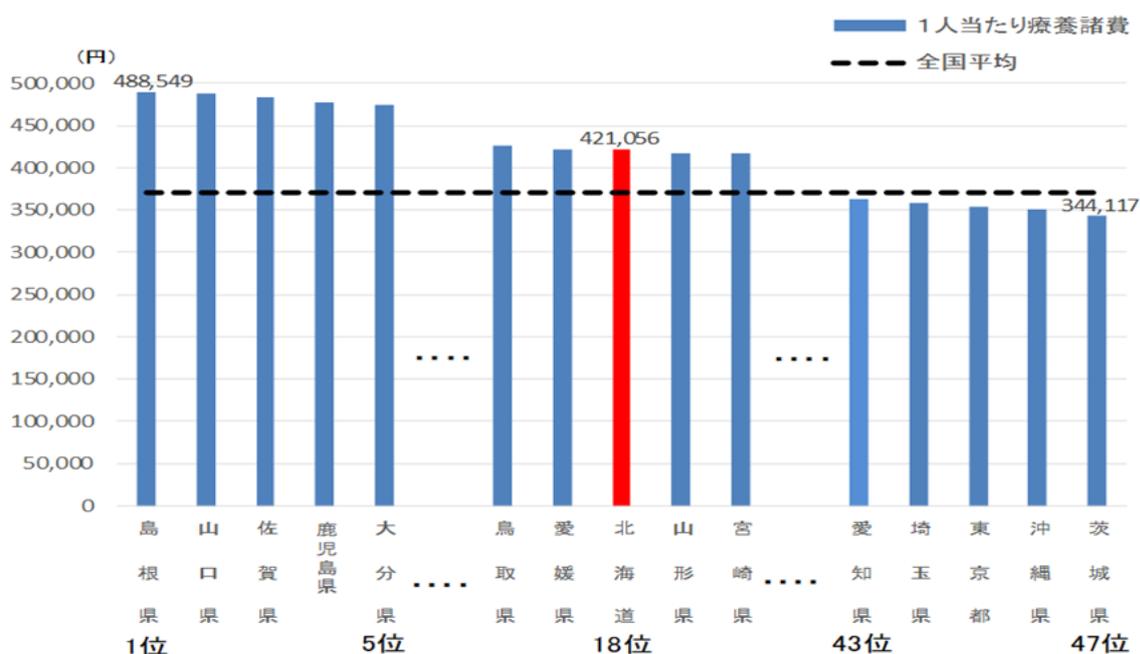
出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」

なお、増減及び全国対比は、出典数値を基に道が算出。

② 都道府県対比

令和3年度の一人当たりの療養諸費は、都道府県の中では、北海道(421,056円)は18番目となっており、一番低い茨城県(344,117円)と比べて1.22倍で76,939円高くなっています。

図4 一人当たり療養諸費の全国比較(R3)



出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」

なお、順位は、出典数値を基に道が算出。

第2章 国保の医療に要する費用及び財政の見通し

③ 道内保険者対比

令和3年度の道内の一人当たりの療養諸費は、市町村では、占冠村が最低の231,276円なのに対し、赤平市がその2.72倍に当たる最高の628,746円となっており、397,470円の差があります。

表3 一人当たり療養諸費(R3 道内市町村)

区分	最高	最低	対比
全体	赤平市 628,746円	占冠村 231,276円	2.72倍
一般分	赤平市 628,747円	占冠村 231,276円	2.72倍
退職分	札幌市 474,873円	旭川市 77,890円	6.10倍

厚生労働省「国民健康保険事業年報」の数値を基に道が算出。
※退職分の最低欄は給付額が0の市町村等を除く。

④ 診療種別医療費の現状

ア 入院

北海道の一人当たりの診療費は172,453円で、全国の144,100円の1.2倍で28,353円多くなっています。一日当たりの診療費は39,190円で、全国の38,291円よりも899円高く、一件当たりの日数は16.06日で全国の16.08日と比較して0.02日短く、100人当たりの受診率*は27.40で、全国の23.40より高くなっています(表4及び表5参照)。

疾病分類別の寄与度*で見ると、「新生物」が0.064と一番高く、「神経系の疾患」が0.034、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が0.023、「循環器系の疾患」が0.020、「消化器系の疾患」及び「精神及び行動の障害」が0.006の順に続いています(表6参照)。

なお、厚生労働省の令和2年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率では「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」、「神経系の疾患」、「新生物」の順に受療率*が全国に比べて高くなっています(図5参照)。

表4 入院医療費の状況(R2)

	北海道	全国	差
一人当たりの診療費	172,453円	144,100円	28,353円
一日当たりの診療費	39,190円	38,291円	899円
一件当たりの日数	16.06日	16.08日	▲ 0.02日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

表5 受診率の状況(R2) (単位:100人当たり件数)

区分	北海道	全国
計	945.83	1,010.15
入院	27.40	23.40
入院外 +調剤	757.08	801.37
歯科	161.35	185.38

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

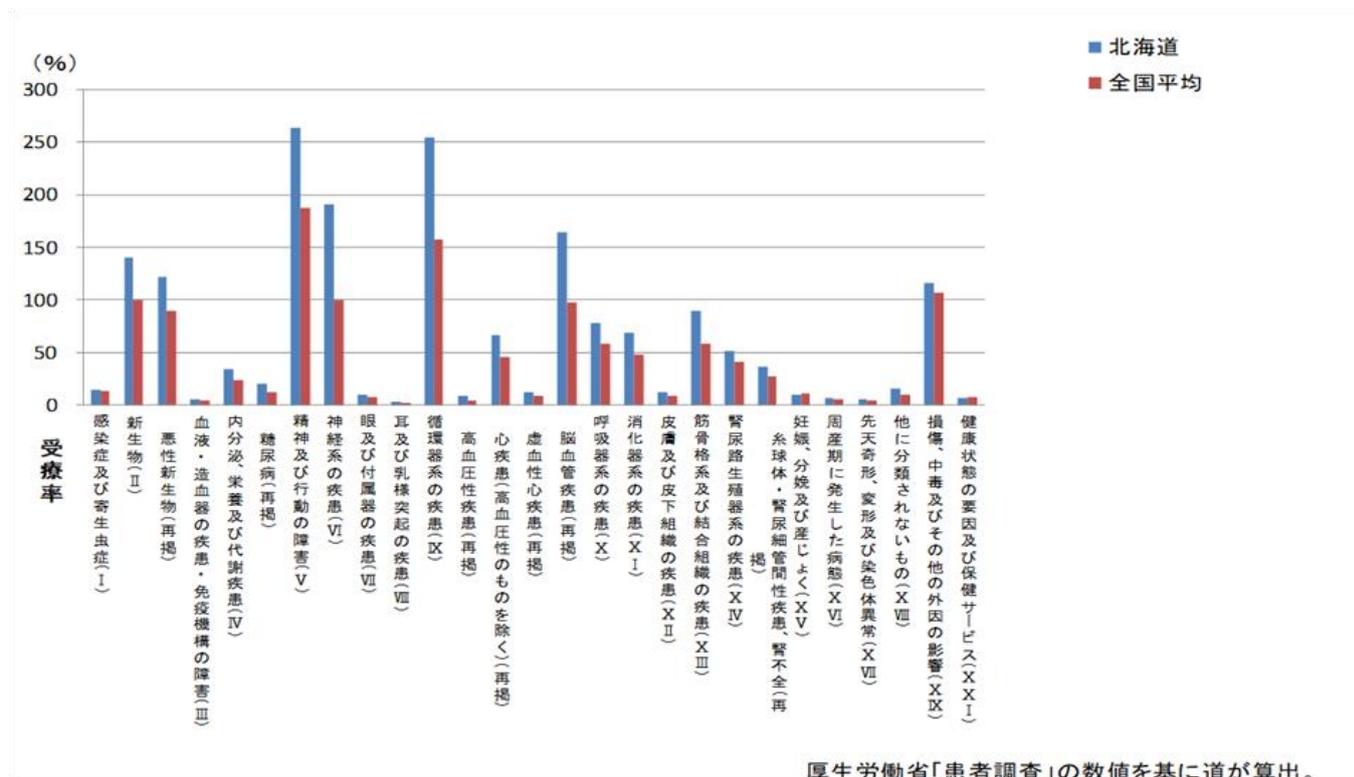
表6 地域差指数*の疾病分類別寄与度(R2 入院)

区 分	疾病例	寄与度(降順)
新生物(Ⅱ)	胃がん、大腸がん、肺がん	0.064
神経系の疾患(Ⅵ)	パーキンソン病、てんかん	0.034
筋骨格系及び結合組織の疾患(XⅢ)	変形性膝関節症、腰痛	0.023
循環器系の疾患(Ⅸ)	高血圧性疾患、心筋梗塞	0.020
消化器系の疾患(XⅠ)	胃潰瘍、十二指腸潰瘍	0.006
精神及び行動の障害(Ⅴ)	統合失調症、躁うつ病	0.006
損傷、中毒及びその他の外因の影響(XⅨ)	骨折、内臓損傷、火傷	0.005
眼及び付属器の疾患(Ⅶ)	結膜炎、白内障	0.002
先天奇形、変形及び染色体異常(XⅦ)	心房中隔欠損症、胆道閉鎖症	0.002
妊娠、分娩及び産じょく(XⅤ)	妊娠、分娩の異常	0.001
呼吸器系の疾患(X)	肺炎、慢性閉塞性肺疾患	0.001
周産期に発生した病態(XⅥ)	胎内感染、多胎	0.001
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(Ⅲ)	鉄欠乏性貧血	0.001
内分泌、栄養及び代謝疾患(Ⅳ)	糖尿病、糖代謝異常	0.001
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(XⅧ)	アレルギー性疾患	0.000
感染症及び寄生虫症(Ⅰ)	結核、ウイルス性肝炎	0.000
耳及び乳様突起の疾患(Ⅷ)	中耳炎、メニエール病	0.000
皮膚及び皮下組織の疾患(XⅡ)	皮膚がん、アトピー性皮膚炎	0.000
腎尿路生殖器系の疾患(XⅣ)	腎不全、尿路結石、前立腺肥大	-0.001
計		0.164

出典:厚生労働省「医療費の地域差分析」

※区分欄のローマ数字は「社会保険表章用疾病分類*」における分類コード。

図5 人口10万人当たりの傷病分類別入院受療率(R2)



イ 入院外（調剤医療費を含み、歯科を除く）

北海道の一人当たりの診療費は199,151円で、全国の194,370円の1.02倍で4,781円高くなっています。一日当たりの診療費は18,731円で、全国の16,125円より2,606円高く、一件当たりの通院日数は1.40日で、全国1.50日を0.10日下回っています（表7参照）。

なお、厚生労働省の令和2年患者調査によれば、北海道の人口10万人当たりの傷病分類別外来受療率では、ほとんどの疾患で全国よりも下回る状況になっています。

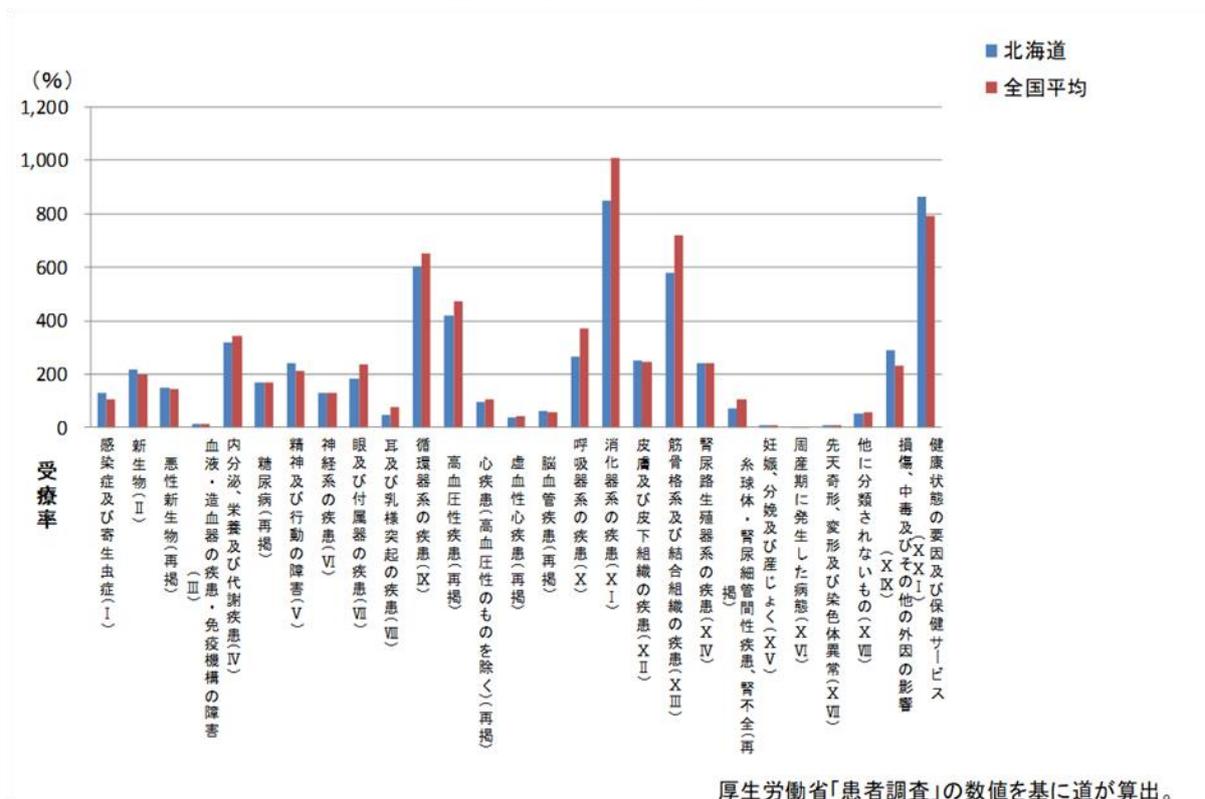
また、「健康状態の要因及び保健サービス」、「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」の順に高くなっています（図6参照）。

表7 入院外医療費の状況(R2)

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	199,151円	194,370円	4,781円
一日当たりの診療費	18,731円	16,125円	2,606円
一件当たりの通院日数	1.40日	1.50日	▲ 0.10日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

図6 人口10万人当たりの傷病分類別外来受療率(R2)



ウ 歯科

北海道の一人当たりの診療費は25,995円で、全国の25,159円の1.03倍で836円高くなっています。一日当たりの診療費は8,206円で、全国の7,597円より609円高く、一件当たりの通院日数は1.96日で、全国の1.79日を0.17日上回っています。

表8 歯科医療費の状況(R2)

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	25,995円	25,159円	836円
一日当たりの診療費	8,206円	7,597円	609円
一件当たりの通院日数	1.96日	1.79日	0.17日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

(2) 二次医療圏*別一人当たり医療費の状況

北海道の医療費が高い要因の一つとして、入院の受診率や推計新規入院発生率*が全国に比べて高いことがあげられます(表5及び表9参照)。

まず、二次医療圏域ごとの医療費の状況を見ると、入院、入院外(調剤を含む)及び歯科の合計では、全国平均が340,609円であるのに対し、富良野、根室以外の19圏域で全国平均を上回っています(図7参照)。

また、入院医療費の状況を見ると、十勝、根室圏域で全国平均を下回っていますが、特に、北渡島檜山、後志、中空知、西胆振及び留萌の5圏域では、全国平均の1.5倍以上となっているなど、二次医療圏域で差が生じている現状にあります(図8参照)。

入院外医療費については、南渡島、後志、南空知、中空知、北空知、西胆振、東胆振、上川中部、上川北部、留萌及び釧路で全国平均を大きく上回っていますが、北渡

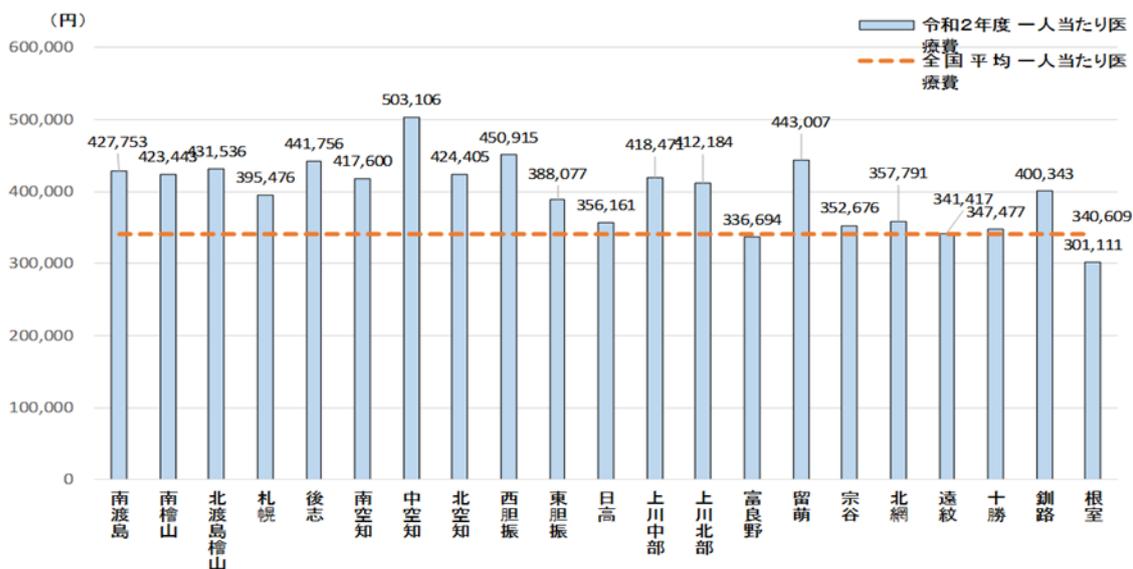
第2章 国保の医療に要する費用及び財政の見通し

島檜山、日高、富良野、宗谷、遠紋及び根室の6圏域で全国平均を下回っています(図9参照)。

歯科医療費については、札幌、後志、中空知、北空知、十勝及び釧路の6圏域で全国平均を大きく上回っていますが、南檜山、北渡島檜山、日高、富良野、留萌、宗谷、北網、遠紋及び根室の9圏域で全国平均を下回っています(図10参照)。

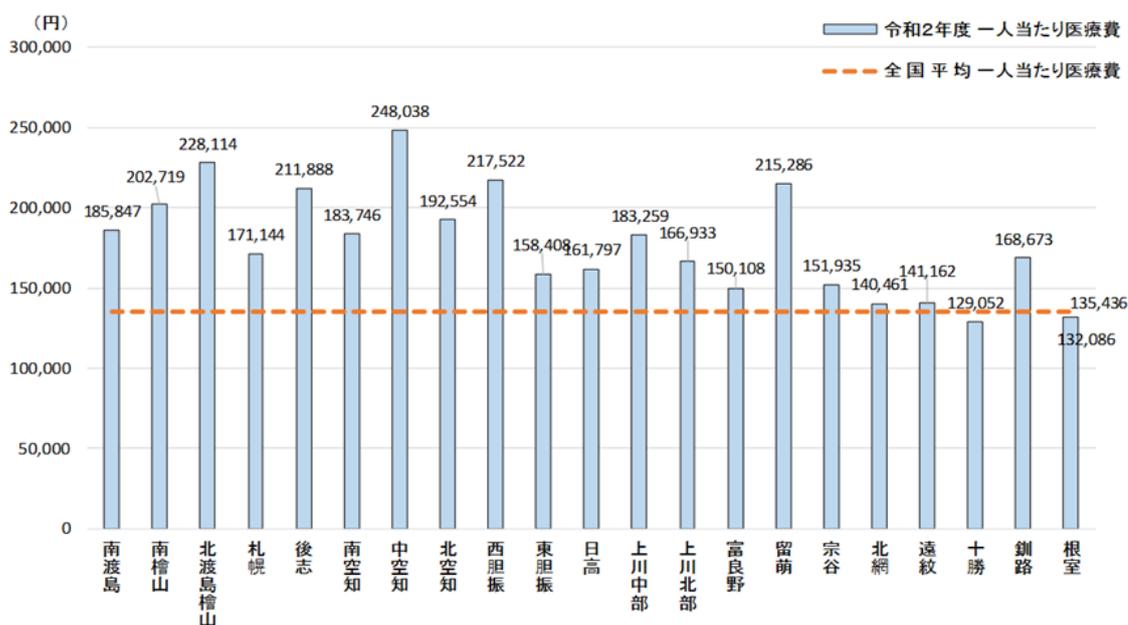
年齢階級別の推計新規入院発生率の状況を見ると、北海道の場合、0歳から4歳までの乳幼児や60歳以上の被保険者の発生率が特に高くなっているほか、いずれの年齢階級別で見ても全国を上回っています(表9参照)。

図7 二次医療圏域別一人当たり医療費(R2 合計)



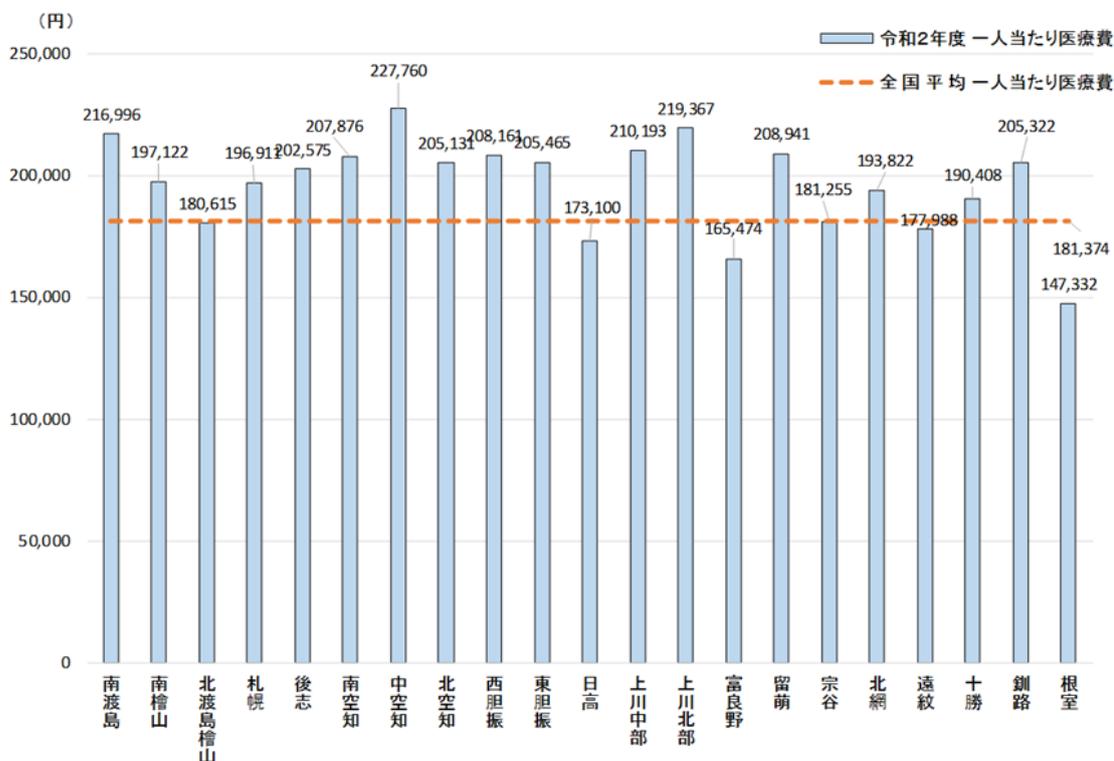
出典:厚生労働省「医療費の地域差分析」

図8 二次医療圏域別一人当たり医療費(R2 入院)



出典:厚生労働省「医療費の地域差分析」

図9 二次医療圏域別一人当たり医療費(R2 入院外)



出典:厚生労働省「医療費の地域差分析」

第2章 国保の医療に要する費用及び財政の見通し

図10 二次医療圏域別一人当たり医療費(R2 歯科)

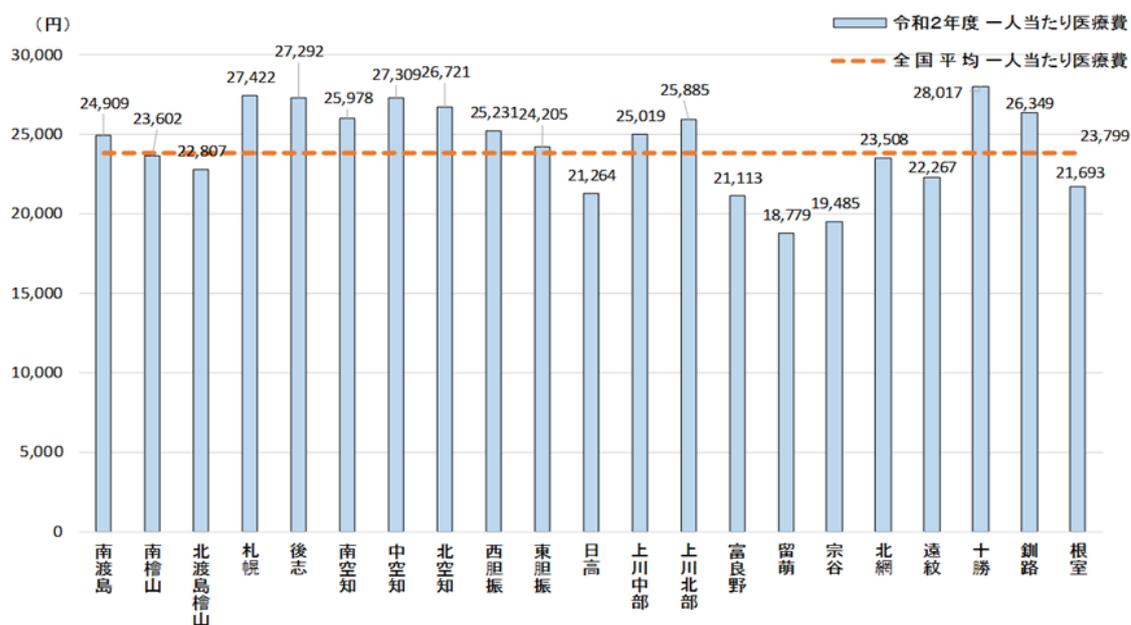


表9 年齢階級別、推計新規入院発生率の推移

(単位：100人当たり件数)

区分	北海道				全国			
	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2
年齢計	14.5	14.6	14.6	13.4	11.8	11.9	12.0	11.4
0～4歳	24.4	24.1	23.7	16.6	16.5	16.3	16.2	12.3
5～9歳	5.0	5.1	4.7	2.8	3.7	3.6	3.7	2.7
10～14歳	3.3	3.3	3.2	2.6	2.6	2.6	2.7	2.3
15～19歳	4.2	4.2	4.1	3.9	3.2	3.2	3.2	3.0
20～24歳	6.0	5.7	5.3	5.4	4.2	4.2	4.1	4.0
25～29歳	7.2	7.0	6.9	6.3	5.3	5.3	5.2	5.1
30～34歳	7.6	7.4	7.2	6.8	6.1	6.0	6.0	5.8
35～39歳	7.0	7.0	7.3	6.5	6.0	6.0	6.0	5.8
40～44歳	7.5	7.4	7.4	6.8	5.9	6.0	6.0	5.8
45～49歳	8.5	8.6	8.8	8.0	6.7	6.7	6.8	6.7
50～54歳	10.4	10.6	10.7	9.9	8.4	8.4	8.4	8.3
55～59歳	12.8	13.0	13.2	12.4	10.4	10.5	10.6	10.4
60～64歳	15.2	15.5	15.5	14.3	12.3	12.4	12.5	12.0
65～69歳	17.1	17.1	16.9	15.4	15.0	15.0	14.9	14.0
70～74歳	23.5	23.2	22.7	20.3	20.4	20.1	19.7	18.4

出典：厚生労働省「医療費の地域差分析」